

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞（発生抑制・搬出抑制部門）
受賞者	株式会社鴻池組 ローレルタワー南森町ル・サンク建設工事
所在地	大阪市 中央区
受賞テーマ	建築現場から発生する各種廃棄物の発生抑制および排出削減、再利用の推進

**【取組概要】**

共同住宅建築工事において、先行埋戻し工法を採用し、発生土の搬出量846m<sup>3</sup>を抑制し、109m<sup>3</sup>の埋戻し購入土量を削減しました。また、ハーフPC及びフラットデッキを採用し、型枠材977m<sup>2</sup>を削減しました。

**①先行埋戻し工法による建設発生土の発生抑制**

当初、建設発生土は1,641m<sup>3</sup>搬出予定のところを、先行埋戻し工法（キーストン型枠）の採用により、搬出量を795m<sup>3</sup>に抑制し、846m<sup>3</sup>（51.5%）を削減しました（10tダンプ190台分）。また、従来の型枠が必要なくなったことで、256m<sup>2</sup>の型枠材を削減しました。また同様に埋戻し土量は、183m<sup>3</sup>の購入を予定していたところ、109m<sup>3</sup>を削減し、74m<sup>3</sup>に購入土を抑制することができました。

共同住宅建築工事では長時間場内に土を仮置きできないことから、一般的に場外へ搬出、搬入を行う。

**②躯体工事におけるPC材・鋼製デッキ（フラットデッキ）の積極的な採用によるベニア材の削減**

地上1階にフラットデッキ、2階以上にPC材を積極的に利用し、型枠材（977m<sup>2</sup>）を削減しました。

**【評価】**

先行埋戻し工法により建設発生土の発生抑制及びPC材や鋼製デッキを積極的に採用し、型枠材の利用を削減したことが評価できる。



先行埋戻し工法



PC材の積極利用